



# 今日も明日も朝が来る

宮崎  
県連  
時報

(第142号)  
編集兼発行  
宮崎市佐土原町  
下那珂1382-7  
宮崎県空手道連盟  
広報企画委員会  
TEL/FAX 0985-73-7751

## コーチ4研修会課題「この時期の大会開催について」

昨年は新型コロナウイルス感染症が世界中に拡大し、日本においても4月16日から全都道府県を対象として緊急事態宣言が発出される事態となりました。同宣言は解除されましたが、その後、感染は第2波、第3波と再燃し、現在は第3波の真っ只中にあります。感染拡大を予防しつつ、経済活動同様、スポーツ活動をどのように取り組んで行くのかが我々指導者にとって大事な役割になっています。現在、洋々な大会が中止や延期、また開催されても規模が縮小されています。しかし、全国大会予選など、上位大会がある場合は大会を実施をせざるを得ません。そこでこの時期に大会を開催する場合、どのような点に気をつけていくか、大会要項に記載する文言を考えていきたいと思えます。大会日程は上位大会がある場合、ある程度決まってくるので「新型コロナウイルス感染状況により、中止または延期することがあります。」と付記する。場所についてはソーシャルディスタンスを念頭に、できるだけ規模の大きい会場、また換気型空調システム完備により冷暖房使用時においても窓の開放が不要の施設がある会場を選択する。タイムスケジュールについては「開会式は感染状況に応じ実施する」とし、男女種目別に受付、試合開始時間をずらして集合をかける。表彰については試合後すぐに行い、閉会式は行わず、流れ解散とする。審判会議、監督会議、競技役員等昼食は広い部屋を使用し、昼食についてはできるだけ時間をずらす。組手安全具については「メンホーにマウスシード着用を必須とする。」と付記する。また、新型コロナウイルス対策という項目を作り、以下の文言を記載する。①無観客での開催（保護者は観客としてみない）。②入場者全員検温を行い、37.5度以上の者は入場を禁止する。③ゴミは必ず各自で持ち帰ること（ゴミによる感染防止を図るため各自ゴミ袋持参）。④練習会場は設けない。⑤公益財団法人全日本空手道連盟感染予防ガイドラインに基づき対策を行う。※安全具の共用の禁止。※形の呼吸及び気合の発声は行わない。※組手の気合は行わない。以上の点を大会要項に記載し、大会当日は検温、マスク着用、消毒を徹底し、こまめな換気、ソーシャルディスタンスを保ち、大声で話さないように注意して、感染予防対策を徹底して、より安心、安全な大会を開催することが指導者としての役目だと思えます。いまだ新型コロナウイルス感染症の終息までの道筋がみえない状況にありますが、空手道を愛する人、スポーツを愛する人、世界中のみんなが健康に留意し、楽しく生きていくためにスポーツ指導者として少しでも貢献していきたいと思えます。

(一社) 宮崎県空手道連盟 河野和久



